

2020年1月14日

神六再開発株式会社
東急不動産株式会社

神宮前六丁目地区第一種市街地再開発事業 権利変換認可を受け本格始動

神六再開発株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：青木 貴弘）と、権利者及び特定事業参加者として参画している東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：大隈 郁仁）は、共に事業を進めている「神宮前六丁目地区第一種市街地再開発事業」において、2020年1月9日付で東京都知事より権利変換計画の認可を受けましたのでお知らせいたします。

本事業は、表参道と明治通りが交差する神宮前交差点の南西角に位置し、「オリンピアアネックス」他を含む街区で構成された約0.3haを一体的に整備する再開発事業です。2019年2月に事業計画認可を受け、地権者並びに関係各所の協力のもと、この度権利変換計画の認可を受けました。

計画地周辺は、商業地としての高いポテンシャルを有する一方、建築物の老朽化、明治通り拡幅による狭小な土地、歩行者と自動車とが交錯する変形五叉路などの課題を抱えていました。本事業では、街区を再編・統合し、土地の有効・高度利用を図り、立地特性に相応しい商業拠点等を整備し、にぎわいを形成するとともに、変形五叉路の解消など安全な歩行者空間の確保を図ってまいります。

東急不動産は、計画地である表参道原宿エリアにおいて、「東急プラザ表参道原宿（2012年4月開業）」、「キュープラザ原宿（2015年3月開業）」などエリア特性を生かした商業施設を開発・運営しています。本事業を推進することで街の回遊性を高め、表参道原宿エリアの更なる魅力向上に寄与してまいります。



外観ボリュームイメージ



■事業概要

| | |
|-------|------------------------|
| 事業名称 | 神宮前六丁目地区第一種市街地再開発事業 |
| 施 行 者 | 神六再開発株式会社 |
| 施行地区 | 東京都渋谷区神宮前六丁目30番2他 |
| 施行面積 | 約0.3ha |
| 敷地面積 | 約3,085㎡ |
| 延床面積 | 約19,890㎡ |
| 階 数 | 地上10階、地下3階 |
| 用 途 | 店舗、公共公益施設、鉄道用変電施設、駐車場等 |
| 位 置 図 | |



■事業の経緯及び今後のスケジュール

| | |
|---------|------------|
| 2016年6月 | 都市計画決定 |
| 2019年2月 | 事業計画認可 |
| 2020年1月 | 権利変換計画認可 |
| 2020年3月 | 解体工事着工（予定） |
| 2020年9月 | 本体工事着工（予定） |
| 2022年度 | 竣工(予定) |



■本事業の特徴

①国際的な観光地に相応しい商業拠点の形成

敷地の細分化や老朽化した建物を統合し、土地の高度利用を図り、商業拠点を整備します。

②後背地への歩行者ネットワーク基盤を強化

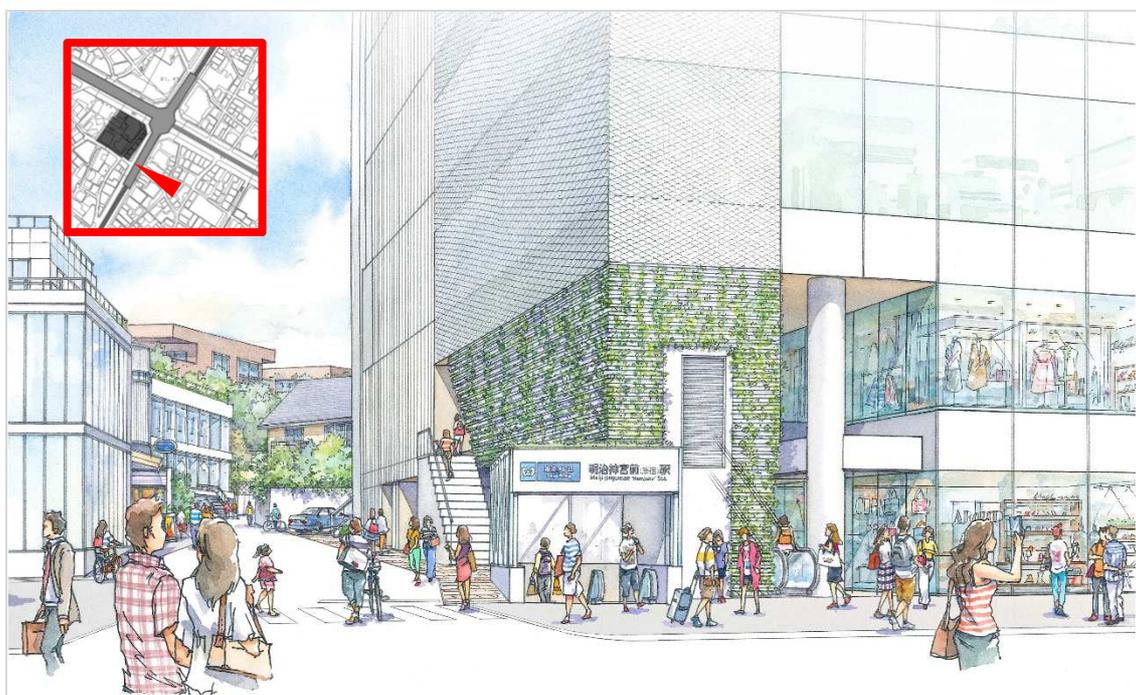
区道630号の廃道による変形五叉路を解消した安全な歩行者滞留空間の確保、安全な市街地環境の整備に寄与する区道623号の道路拡幅の整備、敷地西側に新たな歩行者通路の確保による歩行者ネットワークの強化を行います。

③神宮前交差点に相応しい都市景観を形成

表参道と明治通り沿道の賑わいを結び、神宮前交差点に相応しい都市景観を形成し、敷地内の歩行者通路の賑わいを演出する緑化整備、屋上を活用した賑わいと緑あふれる広場空間の整備を行います。

④安全安心なまちづくり

大規模災害時に備えた防災備蓄倉庫の整備と自家発電設備の整備、食糧などを確保する防災備蓄倉庫を設置します。



「明治神宮前駅」出入口付近（区道623号の道路拡幅整備後）のイメージ

